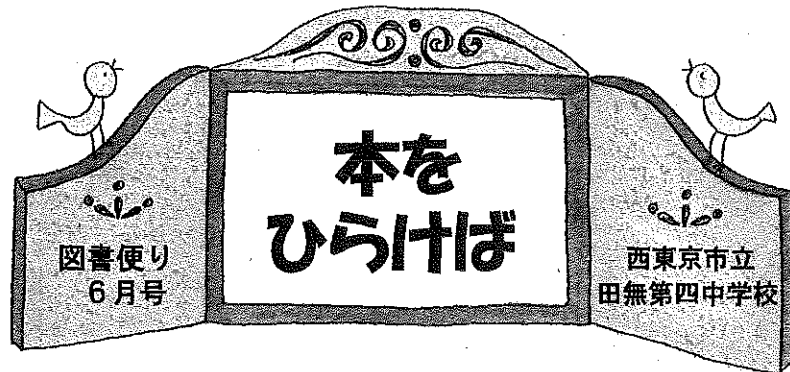




6月といえば梅雨ですね。ではなぜこの時期の雨を梅雨というのでしょうか？

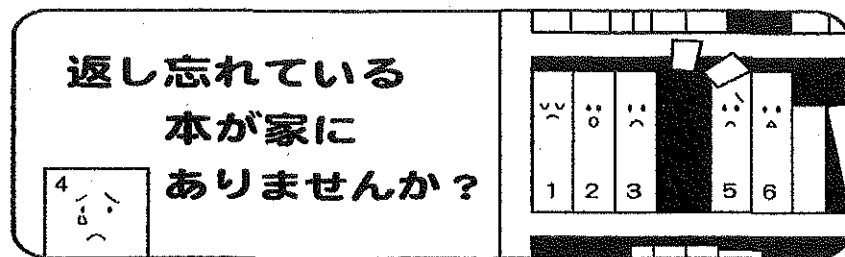
梅雨（つゆ・ばいう）

晩春から夏にかけて雨や曇りの日が多くなる時期。

梅雨という言葉は中国から伝わったという。

中国では霪（かび）のはえやすい時期の雨から「霪雨（ばいう）」とされていたが、語感がよくないので同じ「ばい」と読む「梅」があてられたという説、梅の実が熟す時期の雨から梅雨となったという説がある。

※参考 『美しい季節のことば 365』
パイインターナショナル より



督促状を配布しています。
返却忘れがないか、今一度確認してください。

文豪といえば・・・



夏目 漱石

1867-1916

夏目漱石といえば日本を代表する文豪のひとりですね。江戸の牛込馬場下横町（現在の新宿区）に生まれた漱石は幼い頃に里子に出され、その後父親の知人である塩原家の養子になります。しかし養父母の離縁により夏目家にまた戻りました。東京帝国大学（現在の東大）で英文学を専攻し、卒業後は英語の先生になりますが、39歳の時に俳句雑誌『ホトトギス』に掲載された『吾輩は猫である』が評判となり、作家として歩み始めます。漱石は50歳の時に病気で亡くなりますが、漱石のまわりにはいつも多くの人が集まり、その門下にはたくさんの著名人がいます。



雨の日には読書はいかが？

『13歳からの集中力向上バイブル』

森 健次郎：監修 141ジ

みなさんは「気が散る」「すぐ飽きてしまう」ということはありませんか？集中力を高めるのにもさまざまなコツがあるそうです。

この本の中から自分に合ったコツが見つかるといいですね。

『ハルとカナ』

913ヒ

ひこ・田中：作 ヨシタケシンスケ：絵
小学校二年生たちが主人公。だけど小学生だとあなどれません。彼らも日々いろんなことを考えて生きているのかも・・・。

なんだかこちらが見透かされているようなちょっと「ハッ」とするおはなし。

ほっこりもあります。

『虹の図鑑』

451タ

武田 康男：文・写真

虹のしくみや種類、見つけ方などが書かれています。「虹のたもとに何がある？」などの興味深いコラムもあります。著者は子どもの頃虹のたもとに向かって行ってみたことがあるそうです。みなさんも自分で確かめてみたいことはありますか？